

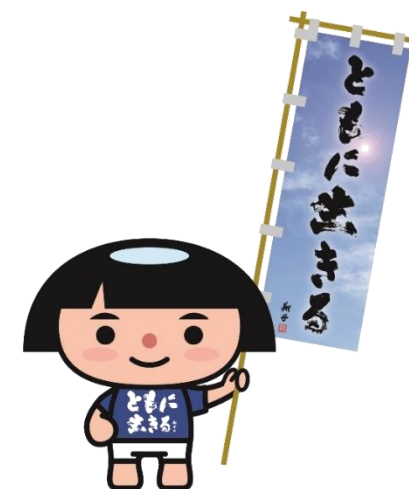
令和7年度第1回ともいきアドバイザー会議

「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けた取組について

令和7年9月5日

福祉子どもみらい局 共生推進本部室

ともに生きる 翔子



- 1 とともに生きる社会かながわ憲章の現在地（認知度等）
- 2 憲章広報施策の見直し
- 3 **新** 令和7年度の新たな取組
- 4 **【拡充】** 令和7年度に拡充した取組等
- 5 令和7年度予算額
- 6 令和7年度主催・参加イベント（予定）

1 とともに生きる社会かながわ憲章の現在地（認知度等）

平成28年7月26日
津久井やまゆり園事件 発生

障がい者に対する偏見や差別的思考による犯行
加害者の主張に同調する人も出現



平成28年10月14日 とともに生きる社会かながわ憲章の策定

県と県議会が、このような事件が二度と繰り返されないよう、ともに生きる社会の実現をめざして策定

1 ともに生きる社会かながわ憲章の現在地（認知度等）

ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

県民ニーズ調査において、憲章について「知っている」「言葉は聞いたことがある」と答えた割合を認知度とし、令和6年度に43%を達成する目標を定めて取り組んできた。

1 ともに生きる社会かながわ憲章の現在地（認知度等）

ともいきを体感

憲章の周知

2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
津久井やまゆり園 事件発生	・みんなあつまれ	・ともいきボタン ➡ (県のたより)		(コロナ禍)	憲章Tシャツ 一般販売開始➡		・ともいき大使➡ ・ともいきシネマ ・ともいきメタバース➡ ・ともいきボランティア➡		・ともいき マイスター➡
 「意思疎通が図れないも のは生きている意味がな い」	・共生社会推進 フォーラム➡					・インクルーシブ ビーチクリーン➡ ・ともいきリーフレット➡ ・ともいきアドバイザー➡	・ともいきアート展➡ ・ともいきゆうえんち➡ ・ともいき寄付➡ ・ともいき広場➡ ・ユニバーサル農園➡		
ともに生きる社会 かながわ憲章 					当事者目線の 障がい福祉 実現宣言		当事者目線条例 施策審 当事者部会	当事者目線 基本計画	
							3つの主流化 (ジェンダー、当事者目線、ともいき)		
憲章認知度	14.8%	17.0%	15.7%	22.9%	26.8%	30.2%	39.5%	29.1%	

1 ともに生きる社会かながわ憲章の現在地（認知度等）

さまざまな方法で年間約5万人、9年間で約45万人に「ともいき」を直接伝え、企業、団体、学校など、共感し活動する人の輪（ワタシのともいき）は確実に広がっているが、県民の半数以上は『知らない』

主な令和6年度ともいき事業	参加人数（概数）
インクルーシブビーチクリーン	250人
学校出前講座	2,000人
ともいきゆうえんち	3,000人
ともいきアート展	6,000人
プロスポーツ試合会場での憲章PR	20,000人
各地のお祭りなどイベント（700人×30回）	21,000人
計	52,250人



ともいきメタ
バス
来場者
100万人以上



ともいき大使
金澤翔子さん
フォロワー6万人

ともいき主流化

ともいきTシャツ
売上累計6,000枚



ワタシのともいき
参加企業 31社



ともいきボランティア
200人

教育 インクルーシブ教育

福祉 バリアフリーな街づくり

文化 共生共創事業

スポ パラスポーツ

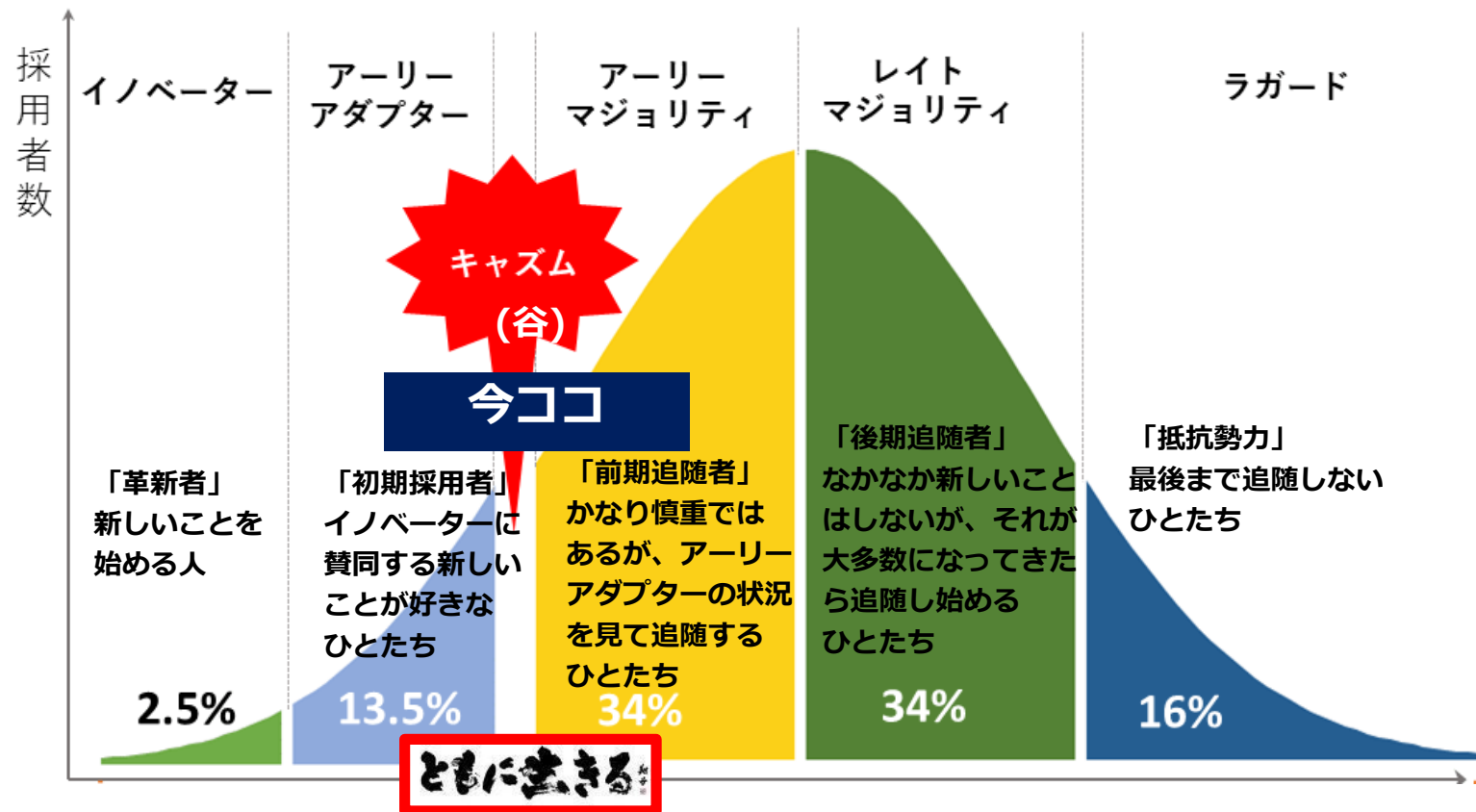
もっとわかりやすく実感を伴う【ともいき】があれば、さらに広がる！

2 憲章広報施策の見直し

「キャズム理論※」から、「ともいき」の現在地と改善策を考える

※新しい概念の商品を市場に投入したときに、どのようにユーザーに広まっていくのかを示すもの

キャズム理論



キャズム（谷）を越えるための 2つの強化ポイント

マジョリティ層は、「進んだ（高尚な）取組であること」より、「利があるから」「他の人たちもやっているから」で参加する人たち

キャズムを超え、マジョリティ層を取り込むために必要な要素のうち、

特に重要なのは、

「やってみたいかどうか」
「参加しやすいかどうか」

森・濱田松本法律事務所 増田雅史弁護士
(ともいきメタバースメンバー)

「ともいき」とは

≡ともに生きる

=ともに生きやすい社会へ

ともに生きやすい社会をみんなでつくる

3 ③令和7年度の新たな取組

(1) ③ともいきマイスター

(2) ③「ともに生きやすい」を考えるワークショップ

3 令和7年度の新たな取組

(1) **新**ともいきマイスター

<制度概要>

県内で共生社会を推進する活動や発信を行っている方々を、「ともいきマイスター」に任命し、県とともに取組を進める制度（R 7. 5～）

<目的>

憲章の理念等を広報を宣伝していただき、より多くの皆様に、「ともいき」への共感やその実現に向けた行動を促していく。

<ともいきマイスターの活動内容>

- ・自身の活動に対する想いと合わせ、憲章や県の取組を発信し、県民の皆様が共生社会の実現に向けた行動を始めるきっかけ作りを行う。
- ・次なるとともいきマイスターをご紹介いただくことで、仲間を増やし、県内各地で共生社会の実現に向けた行動を広げていただく。



【任命第1号】
脳性まひと闘うプロヴァイオリニスト
式町 水晶 さん

3 令和7年度の新たな取組

(2) **新**「ともに生きやすい」を考えるワークショップ

<事業実施コンセプト>

「ともに生きやすいとは何か」を考えるきっかけをつくる。

当事者と一緒にみんなで考え、その結果をみんなで広める



1. 参加者募集を通じた周知
2. 当事者と一緒に「ともいき」を考えるプロセスを番組やSNSを通じて広報
3. 考えた結果をノベルティなどの形にしてストーリーと一緒に広める

当事者目線の参加・巻き込み型広報を展開

4 【拡充】令和7年度に拡充した取組等

- (1) ワタシのともいき（民間企業との連携）**ワタシのともいき**
- (2) 第2回かながわともいきアート展
- (3) ともいきゆうえんち
- (4) ユニバーサル農園
- (5) ともいき（憲章）Tシャツの販売
- (6) ともいきボランティア
- (7) ともいき寄附
- (8) 共生社会実践セミナー～ともいき交差点2025～

4 【拡充】令和7年度に拡充した取組等

(1) ワタシのともいき(民間企業との連携) ワタシのともいき

<協力企業数>

昨年度

17社



今年度

31社

(詳細は記者発表資料参照)

令和7年度、さらに協力企業を増やして、様々な普及展開が実現！

(連携内容抜粋)



R1:ともいきコラボとして「Respect Beer」の販売

R7:再販が決定！今後もコラボした製品開発を検討中



Minato-Mirai BMWのショールームにともいきアート展示
スタッフの憲章Tシャツの着用も



県内175か所のサイネージで憲章の掲載



- ・憲章Tシャツ購入・着用、お出迎え
- ・憲章ポスターの掲示・チラシの配布

4 【拡充】令和7年度に拡充した取組等

(2)第2回かながわともいきアート展 令和7年11月1日～9日@横浜赤レンガ倉庫 開催

ともいきアート(障害者アート)の魅力をより多くの方に知っていただき、ファンになってもらい、憲章とその理念を知っていただくことを目的に、令和6年11月に、「かながわともいきアート展～生きること、表現すること～」として、大きな集客を見込むことができる横浜赤レンガ倉庫で、大規模な展覧会を開催。
(200点の作品を展示)

<ポイント>

様々な来場者が安心して楽しく鑑賞できるよう、様々なイベントや企画を実施・開催するほか、禁止や制約を可能な限り少なくし、「静かにしなくてもいい」「寝転んでもよい」等、寛容(いいよ)と共感(いいね)をコンセプトに実施。

(昨年度の様子)



障害福祉サービス事業所によるワークショップ

全問の美術鑑賞者である白鳥さんとの対話型鑑賞会

4 **【拡充】** 令和7年度に拡充した取組等

(3)ともいきゆうえんち 令和7年9月13日(土) @茅ヶ崎市総合体育館 開催

「障害の程度に関係なく、誰もが気軽に参加できる場所を創出する」ことを目的に、昨年度、県内3障害福祉事業所の協力のもと、県立辻堂海浜公園にて初開催。約3,000人の方が来場。



バイク乗車体験(約130名)



車いす体験(約300名)



アートワークショップ(約200名)



上記に加え、茅ヶ崎開催における4つの新要素



新

全天候型をイベント運営を目指し
屋内開催に初挑戦！



新

(株)ePARAの協力のもと、
eスポーツブースを展開！



新

横浜ゆるスポーツ協会の協力のもと、
ゆるスポーツ体験ブースを展開！



新

休憩スペースにインクルーシブ図書
を展開し、居場所感を醸成！

4 【拡充】令和7年度に拡充した取組等

(4)ユニバーサル農園

障害者だけでなく、高齢者等多様な方が、就農体験をきっかけに気軽に交流し、お互いの理解を深める場を作ることを目的に開設

(運営に携わる団体数)

昨年度 2団体

【拡充】

今年度 7団体



関係者だけではなく、企業や地元の高校・団体等に裾野が拡大！

(6)ともいきボランティアの活動

憲章の理念に共感してくださる県民の方で構成する「ともいきボランティア」が、人数、活動回数ともに拡大！

昨年度 146名(R6.12月時点)

【拡充】

今年度 219名(R7.8月時点)



R6年度は、活動回数は34件、延べ130名が参加！

(5)ともいき(憲章)Tシャツの販売

障害福祉サービス事業所が1枚ずつ手作りで作成した「ともいきTシャツ」の一般販売を実施し、職員、企業等に広く着用を呼びかけ

(販売数)

昨年度 415枚

【拡充】

今年度 485枚



(7)ともいき寄附(個人版ふるさと納税)

障害の程度に関わらずみんなで一緒に楽しめる「ともいきゆうえんち」の実施のため、個人版ふるさと納税を活用し、**100万円**の寄附を募集

【拡充】

昨年度(109万円)以上の金額を達成！



5 令和7年度予算額

	事業名	予算額
憲章の普及	憲章Tシャツ一般販売	ゼロ予算で実施
	各種イベントでの憲章PR活動	
	ともいきシネマ	
	・「ともに生きる社会かながわ憲章」の広報、追悼式、グッズ作成など ・共生社会実践セミナー 等	40,786千円
ともいきアート	・第2回かながわともいきアート展～生きること、表現すること～	19,330千円
共生の場の創出	・インクルーシブビーチクリーンWith鎌倉海藻パーク(年2回) ・ともいきゆうえんち(インクルーシブ移動遊園地)(年2回) ・障がい当事者による「ともいきリーフレット」配布	6,465千円
	・メタバースを活用した居場所づくり事業(ともいきメタバース) ・メタバース講習会、展覧会(かながわともいきアートワールド) ・ともいきメタバースワークショップ	17,234千円
	就農体験会(お試しノウフク) ユニバーサル農園推進事業	13,281千円
	合計	97,096千円